

令和4年度 事業計画

1、基本方針

(1) 県内大学等と地域のパートナーシップ、リカレント教育の推進（新規）

令和3年度大学連携政策研究の提言を受け、滋賀県内における大学等と地域や産業界との連携の推進、大学間連携でのプログラムの提供やリカレント教育の協力体系の構築などリカレント教育の推進を行う。

(2) 大学等を超えた高等教育振興策等の研究開発（継続）

18歳人口減少に伴い大学等間・地域間の学生獲得競争が激化している。学生から選ばれる、学んで良かったと思われる大学・短期大学および地域となるためには、多様な学習機会の提供や魅力的で質の高い教育、県内高校との高大接続の促進などが急務である。大学等が集積しているスケールメリットを活かすため、大学等を超えた高等教育振興策等を研究開発する。

(3) SDGsの推進（継続）

国連で採択されたSDGsの滋賀県における普及推進に向けて、各大学等で取り組む学生活動について情報共有するとともに、県内の大学等や学生が連携した取り組みを行う。

2、事業の実施

() 内は前年予算額

(1) 大学地域連携課題解決支援事業 【2,904,000円】 (2,904,000円)

1) 方針

- ① 地方創生にふさわしい持続可能なまちづくり、歴史に学びながら未来を切り拓くまちづくりを進めるため、地域の課題解決に大学と地域（自治体や地域住民など）と連携して取り組む大学地域連携課題解決支援事業の効果的な実施に取り組む。
- ② 「環びわ湖大学地域交流フェスタ」を長浜市で開催し、支援事業の中間報告会を行い、各事業の進捗状況を確認する。
- ③ 令和3年度に新規採択した事業については、その成果を大学と地域が共有し教育研究等の活性化やコンソーシアム全体としての情報発信に寄与しているかという観点で精査し、2年目の事業予算を措置するとともに、令和4年度の新規事業についても申請内容を精査し選考を行う。

2) 予算案

- ① 大学地域連携課題解決支援事業助成金 240万円

- | | |
|-----------------|---------|
| ② 支援事業選考委員会費 | 20 万円 |
| ③ 大学地域交流フェスタ事業費 | 30.4 万円 |

(2) 学生支援事業 【 1,900,000 円 】 (1,900,000 円)

1) 方針

- ① 2020 年度からの事業のコンセプト「学生による滋賀の SDGs や地域の魅力の発信」を継承し、地域の魅力発信に貢献する事業を展開する。
- ② 学生の興味や暮らしへの密接性に高い内容として、「びわ湖」「食」「地産地消」の視点を盛り込み、「びわ湖から考える、滋賀の地産地消」を年度テーマに滋賀の魅力を探求する。
- ③ 大学間および地域の自治体との連携による SDGs に関連する活動を認知するとともに、学生の柔軟な発想や視点で捉えた「滋賀の魅力」と SDGs への関連性を探求する。
- ④ その成果物として、印刷物（リーフレットやタブロイド版フリーペーパー等）を制作し、収集した情報を発信する。制作における技術指導等は、業者への委託を検討する。

2) 予算案

- | | |
|---------------------------|--------|
| ① 参加学生の活動諸経費等（交通費、交流費等） | 40 万円 |
| ② 業務委託費（技術指導料・ブックレット印刷費等） | 150 万円 |
| 〔内、SDGs 活動支援補助事業補助（予定）〕 | 90 万円] |

(3) 留学生事業 【 900,000 円 】 (新規)

1) 方針

- ① 滋賀県内の大学等に在籍する外国人留学生、大学等の教職員、国際交流団体等が一堂に会し、互いに語り合い交流できる場、留学生が集える場として、滋賀県留学生のつどい（仮称）を開催する。
- ② 滋賀県内の大学に在籍する外国人留学生を対象に、日本で働くための就職活動や留学生の就職と在留資格など、日本で就職活動を行う留学生のためのガイダンスを実施する。
- ③ 滋賀県の留学生数の推移、滋賀県内大学における在籍身分・出身国（地域）別の外国人留学生数を調査し、結果をホームページで情報共有する。また、留学生の紹介や交流事業などの活動をホームページで広く公表する。

2) 予算案

- | | |
|------------------|-------|
| ① 滋賀県留学生のつどい（仮称） | 80 万円 |
| ② 留学生就職活動ガイダンス | 10 万円 |

(4) 就職支援事業 【 250,000 円 】 (250,000 円)

1) 方針

- ① 滋賀での就職を考える学生に合同企業説明会等の情報提供を行い、「学生の県内就職準備活動の支援」に活動の重点を置き、「しが就活塾」開催にあたっては滋賀県、関係機関等と合同で取り組むとともに、インターンシップの促進や学生の就職促進について、県の取り組み等を支援する。
- ② 学生の就職に直結する事業として、行政機関、経済団体等と協力し、滋賀県内の優良企業について、広く学生に認知を促すとともに、県・市・経済団体等が開催する合同企業説明会、就職面接会等に共催・協力として取り組む。
- ③ 学生の就職準備支援に関する事業として、就職年次生だけではなく低年次生にも地元企業の魅力に触れる機会を創出することを目的とした事業を継続して実施する。
- ④ 地元優良企業への採用と定着を踏まえ、学生の就職支援に繋げることを目的としての大学就職担当者と企業人事採用担当者との情報交換事業、就職担当者の力量向上のために外部講師等を活用した研修会としての大学就職担当者間の情報交換事業を企画し実施する。

2) 予算案

- | | |
|---------------------------|-------|
| ① 学生合同業界研究事業（「環びわ・しが就活塾」） | 15 万円 |
| ② 大学就職担当者・企業人事担当者情報交換会 | 5 万円 |
| ③ 大学等就職支援担当職員研修会の開催 | 5 万円 |

(5) 単位互換事業 【 1,400,000 円 】 (1,100,000 円)

1) 方針

- ① 単位互換事業として、各大学から提供される科目の単位取得事務を継続する。
- ② 単位互換パンフレットの内容を更新し、出願者の募集等を行う。
- ③ 大学連携・地域連携型 PBL 科目として開設した「おうみ学生未来塾」を継続する。

2) 予算案

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ① 広報（ポスター、パンフレット印刷） | 50 万円 |
| ② 「おうみ学生未来塾」開講助成（300 千円×3 大学） | 90 万円 |

(6) 広報事業（事務局担当） 【 675,000 円 】 (475,000 円)

1) 方針

ホームページでの情報発信、リーフレットの作成を継続して行うとともに、各事業を推進するための広報や、加盟大学・短期大学、滋賀県、各市の各種イベント案内や参加者募集などの広報の支援を行う。

2) 予算案

- | | |
|-------------------------|--------|
| ① ホームページの管理・運営 | 7.5 万円 |
| ② 留学生事業ページの作成、その他ページの更新 | 10 万円 |
| ③ 広報資料の作成・配布 | 50 万円 |

(7) 全国大学コンソーシアム協議会事業 【150,000 円】 (58,000 円)

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| ① 協議会会費 | 3 万円 |
| ② 研究交流フォーラム 参加費・資料費・旅費 (八王子・2名分) | 12 万円 |
| 大学コンソーシアム八王子 (10/15~16、多摩産業交流センター 予定) | |

(8) 滋賀県受託事業 (予定) 【1,300,000 円】 (1,300,000 円)

大学連携政策研究事業

「県内大学等と地域のパートナーシップ推進に関する政策研究事業」130 万円

(9) コンソーシアム運営の研究費 【200,000 円】 (100,000 円)

当コンソーシアムの運営上の問題点を解決し、大学と地域との連携に関し、コンソーシアムが果たす役割、果たせる役割について検討するための研究を行うとともに、滋賀県内における大学等と地域や産業界との連携の推進、リカレント教育の推進を行う。

- | | |
|---------------------|-------|
| ① 委員謝金・交通費等 (5名×3回) | 20 万円 |
|---------------------|-------|

3、管理運営

(1) 顧問料 【398,000 円】 (398,000 円)

顧問には、引き続き滋賀の高等教育、リカレント教育などの今後の方向とそれに対するコンソーシアムの役割の基本方針を検討する重要な時期にあたるため、月額3万円の相談料及び交通費を計上する。

なお、顧問に関しては、すべて事業費とする。

(2) 事務所管理費 【2,834,000 円】 (2,834,000 円)

滋賀大学大津サテライトと共同利用の日本生命大津ビルの定期賃貸契約を予算化する。

なお、事務所負担金、通信費等に関しては事業費と管理経費を8：2で按分する。看板掲出料はすべて管理経費とする。

○賃料 (月額 175,740 円+税) × 12 月=2,319,768 円

事業費 1,856,000 円、 管理経費 464,000 円

- 通信費等 250,000 円
- 事業費 200,000 円、 管理経費 50,000 円
- 看板掲出料 (月額 20,000 円+税) ×12 月=264,000 円
- 管理経費 264,000 円

令和4年度 大学地域連携課題解決支援事業部会 事業計画

1. 事業方針

本コンソーシアムは「持続可能な開発目標に向けて」と題する第3ステージ宣言を行い、SDGsの達成を大きな共通目標として、これまで以上に多様で新しい連携・協働を進め、実り多い成果を積み重ね、滋賀の地域の発展に貢献していくことを表明している。

本部会においても、地方創生にふさわしい持続可能なまちづくり、歴史に学びながら未来を切り拓くまちづくりを進めるため、地域の課題解決に大学と地域（自治体や地域住民など）が連携して取り組む大学地域連携課題解決支援事業の効果的な実施に取り組む。

また、これらの事業を活用して、地域住民や自治体と大学・学生との交流の活性化など、双方が共に発展できる機会を創造する。

2. 主な取り組み

○大学地域連携課題解決支援事業（継続）

令和3年度に新規採択した事業（12件）については、中間報告会や報告書により進行状況を確認し、その成果を大学と地域が共有し教育研究等の活性化やコンソーシアム全体としての情報発信に寄与しているかという観点で精査し、より充実した成果が望める事業に限り2年目の事業予算を措置する。加えて令和4年度の新規事業についても申請内容を精査し選考を行う。

（事業概要等）

- ・地域における様々な課題の解決に向けて、大学と地域が協働で取り組む教員と学生の活動、学生同士の活動に対して、活動助成を行う。
- ・1プロジェクトの支援額は単年度15万円を上限とし、採択件数に応じて支援額を調整する。
- ・助成対象はコンソーシアムに加盟する自治体（滋賀県、大津市、彦根市、長浜市、草津市、甲賀市、東近江市）と連携する事業とする。単年度もしくは2年の事業計画を提出してもらい審査を行う。
- ・11月頃に「環びわ湖大学地域交流フェスタ」を開催し、支援事業の中間報告会を行い、各事業の進捗状況を確認する。
- ・「環びわ湖大学地域交流フェスタ」について、各事業（学生）間の交流を促す方策等の実施内容について部会で精査を続けていく。

（令和4年度事業スケジュール）

令和4年1月7日～2月18日 支援事業募集期間

3月中	選考委員会において採択（助成金）の審議、部会で決定
4月～3月	支援（助成）期間
11月～12月頃	中間報告会(環びわ湖大学地域交流フェスタ<長浜市>)
3月中旬	報告書提出

3. 事業予算案 290万4千円

<内訳>

大学地域連携課題解決支援事業助成金	240万円
支援事業選考委員会費	20万円
大学地域交流フェスタ事業費	30.4万円

以上

令和4年度 学生支援事業部会 事業計画

(事業計画概要)

1. 2022 (令和4) 年度学生支援事業計画について

2021 (令和2) 年度の学生支援事業は、2020 年度の事業コンセプトである「学生による滋賀の SDGs や地域の魅力の発信」を継承し、県内大学の学生により組織された学生委員と連携して持続可能な社会を実現する活動の情報を発信するブックレットの作成などの事業に取り組んだ。

また、滋賀県との連携企画として、各大学における SDGs 関連事業を掲載した SDGs マップを作成するとともに、SDGs に関連する大学でのイベントへの参加や、高校でのキャラバンを実施し、活動の成果を発信した。

2022 年度は、2020 年度からの事業のコンセプト「学生による滋賀の SDGs や地域の魅力の発信」を継承し、地域の魅力発信に貢献する事業を展開する。

さらに、上述のコンセプトを元に、学生の興味や暮らしへの密接性に高い内容として、「びわ湖」「食」「地産地消」の視点を盛り込み、「びわ湖から考える、滋賀の地産地消」を年度テーマに滋賀の魅力を探求する。

(1) 事業のあり方

大学間および地域の自治体との連携による SDGs に関連する活動を認知するとともに、学生の柔軟な発想や視点で捉えた「滋賀の魅力」と SDGs への関連性を探求する。その成果物として、印刷物（リーフレットやタブロイド版フリーペーパー等）を制作し、収集した情報を発信する。制作における技術指導等は、業者への委託を検討する。

(2) コンセプト・テーマ

コンセプト 「学生による滋賀の SDGs や地域の魅力の発信」

年度テーマ 「びわ湖から考える、滋賀の地産地消」

(3) 目的

- ① 地域の人々との交流を通して地域の特性を理解する。
- ② 国連の「持続可能な開発目標」(SDGs) について学ぶ。
- ③ 学生が大学の垣根を越えて交流・学習する。
- ④ 琵琶湖だけではない滋賀の奥深い魅力や特長を認知し、発信する。
- ⑤ 事業の取り組み、成果を幅広い層に発信する。
- ⑥ プロジェクトでの取り組みを通じて、学生の学びと成長に寄与する。

(4) 活動内容

滋賀県内の 14 大学から選出された学生で複数のチームを編成し、コンセプトに沿った活動を行う。具体的には、参加学生が興味・関心をもった活動や取組の情報収集をし、SDGs との関連性を考察する。その後、取材等を通じて収集した情報を効果的に発信するために成果物を制作する。そのために必要な知識や技術についてのサポートは、専門の業者に委託する。活動について

は、参加学生が主体となり、必要に応じて各大学の教職員や委託業者が支援をする。完成したものは、環びわ湖大学・地域コンソーシアム等のホームページに掲載し、事業の成果物として各自治体や大学などに配布する。

(5) 事業の進め方

①参加学生の募集

各大学2名を目安として事業に参加する学生を選出する。昨年度の参加学生が継続して参加することを妨げない。

②各大学における SDGs 関連事業の取り組み

勉強会や交流会等の体験を通じて、参加学生が SDGs にかかる理解を深め、それぞれの大学における取り組みを推進し、発信するとともに大学間ネットワークを構築する。

③滋賀の SDGs 紹介する印刷物の制作

滋賀県内の SDGs に関連する取り組みや新スポットを紹介する印刷物を制作する。印刷物のコンセプト、取材や写真撮影の流れについては、委託業者にも打ち合わせに入ってもらった上で決定する。

④実施方法

基本的にはフィールドワークを含め、対面で実施する。ただし、コロナウイルスの感染拡大を鑑みて状況によっては、ミーティングや講義、取材等はオンラインで実施する。

⑤発信活動について

学生支援事業の活動や滋賀県の SDGs に関連する取組をより広く発信するため、多様な場所やターゲットに向けて発信活動ができるように参画大学および各自治体等の協力を得て検討をする。

⑥次年度に向けた効果検証

2022 年度学生支援事業の到達点と次年度に向けた課題について振り返りを行う。

2. 予算案

① 参加学生の活動諸経費	300,000 円	(会議交通費、現地訪問時の交通費、交流費等)
② 需用費	50,000 円	(印刷費、消耗品費、会議費等)
③ 役務費	50,000 円	(パンフレット運搬費等)
④ 業務委託費	1,500,000 円	(委託費・技術指導料・ブックレット印刷費等)
合計	1,900,000 円	

3. 学生支援事業部会の実施体制について

主 担 当：龍谷大学

副 担 当：滋賀大学、聖泉大学

業務委託：SDGs に関する講座・印刷物制作に係る学生支援についての業務は委託する。

4. 今後の進め方

2022 年 4 月以降に龍谷大学より学生支援事業に関する諸連絡を行う。

以上

令和4年度 留学生事業部会 事業計画

滋賀県留学生交流推進会議から事業を引き継ぎ、新たに設置した留学生事業部会では、滋賀県における留学生の交流活動の推進を図るとともに、大学間の連携の強化に寄与する事業を行う。

1. 留学生懇談会「滋賀県留学生のつどい（仮称）」

滋賀県内の大学等に在籍する外国人留学生、大学等の教職員、国際交流団体等が一堂に会し、互いに語り合い交流できる場、留学生が集える場として開催する。

具体的には、大学等の定期試験が終了し留学生が帰国する前の8月上旬頃に、県内のホテル等において実施し、滋賀県知事等に出席を依頼する。

2. 留学生就職活動ガイダンス

滋賀県内の大学に在籍する外国人留学生を対象に、日本で働くための就職活動や留学生の就職と在留資格など、日本で就職活動を行う留学生のためのガイダンスを実施する。

実施にあたっては、就職支援事業部会と連携して行う。

3. 調査・広報活動

滋賀県の留学生数の推移、滋賀県内大学における在籍身分・出身国（地域）別の外国人留学生数を調査し、結果をホームページで情報共有する。また、留学生の紹介や交流事業などの活動をホームページで広く公表する。

実施にあたっては、環びわ事務局と連携して行う。

4. 予算

① 滋賀県留学生のつどい（仮称）	800,000 円
② 留学生就職活動ガイダンス	100,000 円
合計	900,000 円

5. 留学生事業部会の体制

滋賀県立大学（主担当）、滋賀大学（副担当）、滋賀県（副担当）で運営する。

事業は全大学が参加し、国際交流団体等が協力して実施する。

以上

令和4年度 就職支援事業部会 事業計画

令和3年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症による新卒者の就職活動への影響が少なからず見られた。滋賀での就職を考える学生にとって企業との接点となる重要な機会である合同企業説明会、就職面接会等においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、感染対策を徹底することにより一部を除き開催されたことから、学生に対して積極的に情報提供をおこなった。また、「しが就活塾」などのイベントに滋賀県、関係機関と協働して取り組んだ。

令和4年度についても、引き続き、「学生の県内就職準備活動の支援」に活動の重点を置き、「しが就活塾」開催にあたっては滋賀県、関係機関等と合同で取り組むとともに、インターンシップの促進や学生の就職促進について、県の取り組み等を支援する。

1 学生の就職に直結する事業

(1) 合同企業説明会の支援

行政機関、経済団体等と協力し、滋賀県内の優良企業について、広く学生に認知を促すとともに、より多くのマッチングを実現するために引き続き、県・市・経済団体等が開催する合同企業説明会、就職面接会等に共催・協力として取り組む。

<令和4年度開催計画>

令和3年度は、前年度に新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったイベントの大半が、感染対策を徹底することで従来どおり開催された。

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の先行きが不透明な状況ではあるものの、オンライン開催を含め、学生への情報提供などを積極的に協力していく。

○令和3年度開催実績

- ・共催：湖北地区 1回
 - ・協力：滋賀県全域 3回、大津地区 2回、東近江地区 1回、
甲賀・湖南地区 1回
 - ・その他（広報協力）：彦根地区 2回、大津地区 1回、湖北地区 1回
- 計12回

2 学生の就職準備支援に関する事業

学生の就職準備として、就職年次生だけではなく低年次生にも地元企業の魅力に触れる機会を創出することを目的とし平成24年度から開始した事業であり継続して実施する。過去の事業実施成果としては、以下のとおり。

- 平成 25 年度 企業訪問会 ※平成 25 年度以降、滋賀県中小企業団体中央会と協力
- 平成 26 年度 企業訪問会、ミニインターンシップ
- 平成 27 年度 企業訪問会、滋賀の企業研究セミナー
- 平成 28 年度から令和元年度 「環びわ・しが就活塾」業界研究、ワークショップ
- 令和 2 年度 「しが就活塾」業界研究、ワークショップ（オンライン開催）
- 令和 3 年度 「しが就活塾」業界研究会（オンライン開催）

※企画内容については、滋賀県商工観光労働部、滋賀県中小企業団体中央会と協議し決定する。

3 大学就職担当者と企業人事採用担当者との情報交換事業

地元優良企業への採用と定着を踏まえ、若年者地域連携事業（滋賀労働局）により、企業人事採用担当者と加盟大学就職担当者との情報交換を行い、学生の就職支援に繋げることを目的として開催する。

4 大学就職担当者間の情報交換事業

令和 3 年度は、各大学の就職担当者向けに、①「県外大学のコロナ禍での取組み／学生への情報提供」、②「県内就職促進に向けた行動宣言」をテーマにした研修会を開催した。令和 4 年度も加盟大学の意見や要望を集約して、就職担当者の力量向上のために外部講師等を活用した研修会を企画し実施する。

5 就職支援関係機関連絡会議

大学生の県内就職の現状ならびに関係機関および大学の取組について、必要に応じて情報共有し意見交換を行う。

6 予算案

就職支援事業

(1) 合同企業説明会の支援	0 円 (0 円)
(2) 学生の就職準備事業（しが就活塾）	150,000 円 (150,000 円)
(3) 大学就職担当者・企業人事担当者情報交換会	50,000 円 (50,000 円)
(4) 大学就職担当者の研修会	50,000 円 (50,000 円)
(5) 就職支援関係機関連絡会議	0 円 (0 円)
合計	250,000 円 (250,000 円)

※（ ）は令和 3 年度予算

以 上

令和4年度 単位互換事業部会 事業計画

1.2021年度担当校

主担当校：滋賀県立大学

副担当校：立命館大学・びわこ成蹊スポーツ大学

2. 2022年度環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換事業計画

2022年度の単位互換事業については、2021年12月9日に開催した「第1回単位互換事業委員会・教務担当者合同会議」にて審議され、本年度同様に実施することで承認された。

現在、以下の「2022年度 単位互換事業開講・出願スケジュール」に則り、提供科目の時間割編成等に着手している。

なお、出願書等の各種書類フォーマットおよび事業告知に使用するポスター・リーフレットについても、本年同様に作成していくこととされた。

《 2022年度単位互換事業開講・出願スケジュール 》

月日	教務日程	備考
1月31日(月)	【開講】2022年度提供科目報告期限	所定フォーマット
2月28日(月)	【開講】2022年度開講科目シラバス最終原稿締切	
3月中旬	【開講】2022年度「募集ガイド」HP掲載	
4月上旬	【出願受付】募集ガイダンス・出願受付	
～4月7日(木)	【出願受付】出願受付 <各大学> ※許可発表以前に開講される科目は、 仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
4月11日(月) 17:00	【出願受付】「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	所定フォーマット
4月12日(火) ～4月18日(月)	【出願受付】出願者の選考 <科目提供大学>	
4月19日(火) 17:00	【出願受付】選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学、事務局大学>	所定フォーマット
4月20日(水) ～4月21日(木)	【出願受付】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【出願受付】受講登録	所属大学で随時
4月25日(月) ～5月6日(金)	【追加募集】追加募集対象科目の選考 <科目提供大学>	
5月9日(月) 17:00	【追加募集】追加募集対象科目の報告 <各大学→事務局大学> ※夏期集中・後期科目を対象とする。	所定フォーマット
5月11日(水)	【追加募集】追加募集対象科目一覧の送付 <事務局大学→各大学>	

5月18日(水) ～6月1日(水)	【追加募集】追加募集受付 <各大学>※許可発表以前に開講される科目は、仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
6月6日(月) 17:00	【追加募集】追加募集「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	所定フォーマット
6月7日(火) ～14日(火)	【追加募集】追加出願者の選考 <科目提供大学>	
～6月16日(木) 17:00	【追加募集】追加募集選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学、事務局大学>	所定フォーマット
6月17日(金) ～6月24日(金)	【追加募集】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【追加募集】追加募集許可者の受講登録	所属大学で随時
7月25日(月) ～8月2日(火)	【再追加募集】追加募集対象科目の選考 <科目提供大学>	
8月18日(木) 17:00	【再追加募集】追加募集対象科目の報告 <各大学→事務局大学> ※後期科目を対象とする。	所定フォーマット
8月22日(月)	【再追加募集】追加募集対象科目一覧の送付 <事務局大学→各大学>	
8月23日(火) ～8月30日(火)	【再追加募集】追加募集受付 <各大学>※許可発表以前に開講される科目は、仮受講を認める。	各大学の状況に応じて設定
9月2日(金) 17:00	【再追加募集】追加募集「出願票」提出期限 <各大学→科目提供大学>	
9月5日(月) ～9月9日(金)	【再追加募集】追加出願者の選考 <科目提供大学>	所定フォーマット
～9月13日(火) 17:00	【再追加募集】追加募集選考結果連絡 <科目提供大学→学生所属大学および事務局大学>	所定フォーマット
9月16日(金) ～9月22日(木)	【再追加募集】許可発表 ※各大学の状況に応じてこの日までに設定。	
随時	【再追加募集】追加募集許可者の受講登録	所属大学で随時

3.2022年度環びわ湖大学・地域コンソーシアム単位互換事業提供科目

2022年度の提供科目は加盟する13の大学・短期大学から報告があり、65科目で実施することとなった。<昨年は65科目、一昨年は実施しなかったが当初70科目を予定していた。>

実施方法は対面授業を原則としているが、感染防止対策のため遠隔授業への切り替えや併用等、その都度変更となる予定である。

【2022年度 提供科目一覧】

	開講 キャンパス	科目番号	科目名	担当者 (フルネーム)	単位	回生*1	単位互換定員*2	開講期間*3	曜日	時限
滋賀大学	大津	1	日本と世界の文化	江崎 麻里	2	1以上	若干名	春学期集中		
	大津	2	地理学からの問い	安藤 哲郎	2	1以上	若干名	秋学期	月	4
	大津	3	自然科学への招待	徳田 陽明	2	1以上	若干名	秋学期	金	2
	彦根	4	近江のくらしと文化	上田 洋平	2	1以上	若干名	春学期	金	1
	彦根	5	人間と社会	黒石 晋	2	1以上	若干名	秋学期	木	3
	彦根	6	環境問題を学ぶ	中野桂・和田暁之・松下英平	2	1以上	若干名	秋学期	木	2
	彦根	7	彦根・湖東学	青柳 周一 他	2	1以上	若干名	秋学期集中	土	

滋賀医科大学	8	哲学入門	室寺 義仁	2		10	前期	火	2
	9	医療イノベーションの基礎	松浦 昌宏	2		若干名	前期	水	4
滋賀県立大学	10	おうみ学生未来塾(湖東)	上田 洋平	2	2以上	30名(全定員)	夏期集中	-	-
	11	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション -近江の暮らしとわいわい-	上田 洋平	2	1以上	100名(全定員)	夏期集中	-	-
	12	地域コミュニケーション論	上田 洋平	2	1位上	10名程度	春期集中	-	-
	13	世界遺産のまちづくり・ひとづくり	上田 洋平	2	1以上	10名程度	後期	月	3
	14	びわこ環境行政論	井手 慎司	2	1以上	10名程度	後期	月	4
滋賀短期大学	15	地域産業・企業から学ぶ社長講義	高松 徹	2	1以上	10名程度	後期	月	4
	16	近江学入門	秋山元秀	2	1以上	若干名	前期	木	1
	17	数の不思議	久米央也	2	1以上	若干名	後期	木	1
	18	ラッピング演習	灰藤友理子	1	1以上	若干名	後期	月	5
	19	オフィス総論	若生真理子	2	1以上	若干名	前期	水	4
滋賀文教短期大学	20	秘書実務 I	若生真理子	1	1以上	若干名	前期	火	2
	21	秘書実務 II	若生真理子	1	1以上	若干名	後期	水	3
成安造形大学	22	湖北の歴史と民俗文化	中島 誠一	2	1以上	若干名	春学期	調整中	調整中
聖泉大学	23	近江学B(大学連携・地域連携型PBL科目「おうみ学生未来塾(湖西)」)	加藤賢治 仁連孝昭	2	1以上	若干名	前期集中	-	-
	24	デザイン史概説A	島先京一	2	1以上	若干名	前期	火	1
	25	デザイン史概説B	島先京一	2	1以上	若干名	後期	火	1
	26	東洋・日本美術史概説A	小岩善通	2	1以上	若干名	前期	水	1
	27	東洋・日本美術史概説B	小岩善通	2	1以上	若干名	後期	水	1
	28	西洋美術史概説A	千速敏男	2	1以上	若干名	前期	木	1
長浜バイオ大学	29	西洋美術史概説B	千速敏男	2	1以上	若干名	後期	木	1
	30	滋賀論	森 雄二郎	2	2	若干名	前期集中		
	31	運動心理学	炭谷 将史	2	2	若干名	前期		
	32	心理学概論A	李 艶	2	1	若干名	前期		
びわこ学院大学	33	発達心理学	池田 龍也	2	1	若干名	後期		
	34	知覚・認知心理学	鈴木 雅洋	2	2	若干名	前期		
	35	生物学基礎	岩本 昌子	2	1以上	5名以内	前期	水	2
	36	基礎微生物学	新任	2	1以上	5名以内	前期	金	3
びわこ成蹊スポーツ大学	37	遺伝子工学	新任	2	1以上	5名以内	後期	金	1
	38	近江でのSDGsの実践	蔡 晃植、他	2	1以上	10名程度	後期集中	土	-
	39	子ども学総論	烏野 猛 南 雅則 渡辺 雅幸	2	1以上	若干名	春学期		
	40	滋賀の環境	佐々木 和之	2	1以上	若干名	秋学期		
びわこ成蹊スポーツ大学	41	メンタルトレーニング論	竹内 早耶香	2	2以上	若干名	春学期		
	42	レクリエーション論	山ノ井 勉	2	1以上	若干名	春学期		
	43	生活と福祉	山ノ井 勉	2	1以上	若干名	秋学期		
	44	栄養と健康	武田 哲子	2	1以上	若干名	未定		
びわこ成蹊スポーツ大学	45	スポーツ社会学概論	佐藤 馨	2	1以上	若干名	未定		
	46	レジャー・レクリエーション論	佐藤 馨	2	1以上	若干名	未定		
	47	スポーツバイオメカニクス	高橋 佳三	2	1以上	若干名	未定		
びわこリハビリテーション専門職大学	48	哲学入門	堀 寛史	1	1以上	若干名	前期	未定	未定
龍谷大学	49	生活の中の数学	荒井 徳充	2	1以上	15	前期	水	3
	50	里山学	宮浦 富保 他	2	1以上	10	前期	月	3
	51	環境の科学	奥田 哲士	2	2以上	20	後期	月	2
	52	社会人類学	榑原 敦子	2	2以上	不問	前期	金	2
	53	びわ湖・滋賀学	脇田 健一	2	2以上	5名以内	夏期集中	集中	集中
	54	環境社会学	間 美芳	2	2以上	不問	後期	月	2
	55	コミュニティ論	坂本 清彦	2	1以上	不問	後期	火	4
	56	社会貢献論	川中 大輔	2	2以上	不問	前期	木	2
	57	植物生理・生化学 I	古本 強	2	1以上	20名	後期	水	1
	58	食と嗜好の科学	山崎 英恵 他	2	1以上	20名	後期	月	2
59	日本・京滋の食料と農業	淡路 和則	2	1以上	20名	後期	木	2	

立命館大学	60	経済学特殊講義Ⅱ(金融・証券分析基礎)	三好 秀和	2	2以上	10名程度	夏集中	—	—
	61	近現代の科学技術	船山 惠 鈴木 健一郎	2	1以上	10名程度	春学期	水	1
	62	生命科学概論	加藤 稔	2	1以上	10名程度	春学期	月	5
	63	薬学概論	浅野 真司	2	1以上	2名程度	春学期	火	1
	64	スポーツマネジメント論	長積 仁	2	2以上	10名程度	春学期	月	3
	65	衛生学(公衆衛生含む)	金森 雅夫	2	2以上	10名程度	秋学期	木	4

提供科目数 65 科目

3.2022 年度事業予算案

<内訳>

広報(ポスター、パンフレット) 50 万円

おうみ学生未来塾開講運営費用 90 万円

(1 大学 30 万円×3 大学)

計 140 万円

以 上

令和4年度 広報事業部会 事業計画（案）

ホームページでの情報発信、リーフレットの作成を継続して行うとともに、各事業を推進するための広報や、加盟大学・短期大学、滋賀県、各市の各種イベント案内や参加者募集などの広報の支援を行う。

1. ホームページの管理・運営

当コンソーシアム各事業の展開を支援する広報事業として情報提供を行う。

滋賀県が推進するSDGs事業について、加盟大学・短期大学、自治体などの取り組みなどを紹介する。

新たに留学生事業のページを作成し、環びわホームページに掲載している内容を随時更新して、当コンソーシアムの取り組み内容などの周知を図るとともに、関係団体のイベント情報も随時掲載し、地域との連携の更なる強化を図る。

2. 広報資料の作成・配布

リーフレットの内容を改訂し、加盟大学・短期大学、自治体、経済界、NPO団体、国際交流関係団体、全国大学コンソーシアム組織、県内高校、近隣府県の高校へ配布する。また、県内外での催し物などの機会を活用して、当コンソーシアムのPRにも活用する。

3. 予算

① ホームページの管理・運営	75,000 円
② 留学生事業ページの作成、その他ページの更新	100,000 円
③ 広報資料の作成・配布	500,000 円
合計	675,000 円

以上